

薩摩川内市

⑥ 公益社団法人 薩摩川内市農業公社

研 修	研修作物	(耕種部門) いちご, らっきょう, ゴーヤー, ごぼう, やまのいも, きんかん, ぶどう (畜産部門) 畜産
	研修期間	(耕種部門) 18ヶ月以内 (畜産部門) 12ヶ月
	研修費用	研修費用は特にない。
	研修内容・方法等	(耕種部門) 1年目 基礎研修(経営, 簿記, 機械, 土壌, 肥料, 気象, 農薬, 病虫害等) 栽培研修(公社ほ場研修及び農家への派遣研修) 2年目 栽培研修(研修生が選択した作物を主に研修) (畜産部門) 鹿児島県畜産試験場における研修を受講
募 集	募集時期と人員	12月から1月31日まで 5名程度を募集
	募集条件	<ul style="list-style-type: none"> 本市に住所を有している方(畜産部門はこの限りではない) 年齢が55歳以下である方 研修終了後, 本市で5年以上就農することが見込まれる方
	見学・体験	現在のところ実施していない。
支 援	研修中の支援	【研修手当】 年額150万円以内 (夫婦で研修の場合は, 年額225万円以内) *生活費の確保を目的とした国の事業による給付等を受けられない者, 市税等の滞納がない者 【住宅】 市営住宅を希望される場合は紹介できます。
	就農の際の支援 (農地, 機械・施設等)	(農地) 農業公社, 農業委員会による農地の斡旋 (機械・施設) 国, 県, 市の助成制度の活用
研修施設等の所在地 及びその連絡先 <small>募集問い合わせ先には★印を</small>		〒895-1402 薩摩川内市入来町浦之名33番地 (公社) 薩摩川内市農業公社 担当: 流川 TEL: ★0996-44-3140 FAX: 0996-44-3241 E-mail: s-senngk_ngr@po4.synapse.ne.jp 薩摩川内市役所 農政課 担当: 森 TEL: 0996-23-5111 FAX: : 0996-20-5570 E-mail: t.mori@city.satsumasendai.lg.jp



※この施設は, 上記情報のほか「施設・研修風景の写真, 研修生や卒業生の声等の情報」を右のQRコードによりスマホ等から確認できます。

研修施設や研修の状況



右から いちごハウス2連棟, きんかんハウス2連棟, ぶどうハウス4連棟



研修棟



右から 研修棟, ぶどうハウス4連棟, きんかん2連棟, いちご2連棟

研修生や卒業生からの声

北原 豊さん(第9期研修生)

研修期間: 平成26年4月～平成27年9月

私は2014年4月から1年半、薩摩川内市農業公社で新規就農研修を受け、2015年10月に薩摩川内市で新規就農しました。

現在の栽培作物はメインのゴボウと他に南瓜を栽培しています。

1年半の研修では、主に主要7品目の作物の栽培実習を受け、その中の1品目であるゴボウで新規就農しました。他地域の研修では1品目に限定して研修する所もあるようですが、果樹から野菜まで幅広く研修でき、自分に合った、あるいは自分がやりたい作物を探すという意味でも、多品目の実習研修は良かったと思っています。

研修では、実習だけでなく座学研修もあり、病害虫、農薬、肥料、堆肥、農機、農業簿記等々、就農に必要な知識を幅広く研修できます。また前の仕事がデスクワークで体力に自信がなくても、1年半の研修で、農作業に耐えられる体になります。最初の人脈作りにもなります。私の今の耕作地は借地で研修中に農業公社に斡旋してもらいました。

やみくもに就農するよりも、研修で農業に関する一通りの知識や技術を習得してから就農の方が、失敗も少ないし、より確実に就農出来るのではないかと思います。

研修後半では、自分が就農する作物での就農計画を策定します。これで就農後の具体的なイメージが出来あがりますが、現実が厳しいことも思い知らされます。とは言え、やる気とビジョンと実行力があれば、明るい未来も決して難しい事ではないとも思えます。

現在は策定した就農計画を大きく上回れるよう、日々精進している所です。



出身地 薩摩川内市
研修前 神奈川県横浜市

研修生や卒業生からの声

小牧 友裕さん(第10期研修生)

研修期間:平成27年4月～平成28年9月

私は今までにデスクワークも外仕事も経験した上で、自分には外で体を動かす仕事が向いていると考え、向き不向きや将来性など考えた上で就農を決意し、農業公社での研修を始めました。

農業公社での研修では、特定作物の管理方法や農業経営についての基本的な知識や技術の習得はできますが、実際に自分の圃場で作物の栽培を始めてから得られる経験の方が圧倒的に重要だと今は実感しています。

「農業は難しい」という言葉は研修を始める前から耳にしており、自分なりに理解していたつもりでしたが、聞くのと体験するのは大違いで、毎日が新しい発見と試行錯誤の連続です。

教わった通りにやっても、ほんの少しのタイミングのズレや天候の違いで圃場の景色がガラッと変わってしまいます。

机上の知識は勿論重要ですが、あくまでそれは基本知識であって正解にはなりません。また、どれだけ経験してもきっと正解は見つからないのだろうとも感じます。

それでも毎日圃場に出て、少しずつ成長していく作物を眺め、少しずつ変化していく圃場の景色を眺めながら作業を行う毎日はとても充実しています。

今年より来年。来年より再来年もっといい作物を作りたい。焦らず腐らず長い目で目標を定め、日々努力し成長できるのであれば農業はとても楽しく、また、将来性のある仕事だと感じています。



出身地 薩摩川内市
研修前 鹿児島市

松本 茂夫さん(第10期研修生)

研修期間:平成27年7月～平成28年9月

研修制度について

新規就農者からすれば支援金があったり主要品目の勉強が出来たり、農地の貸し借りをやってくれたりと、農業を始めるにはこの上なく、頼もしい制度だと思います。

欲を言えば各市町村の新規就農者の生の声を研修期間中にもっと気軽に聞ける場があれば良かったかなあと感じました。

薩摩川内市の場合は品目が多過ぎて時間に余裕が無さ過ぎたように感じました。



出身地 島根県
研修前 兵庫県